※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報Ⅰ　Step Forward!　（東京書籍）						
副教材等	情報Ⅰ Step Forward！学習ノート（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・講義と実習を行い、情報に関する知識や考え方、情報を適切に表現する技能、プログラミングを行うための論理的思考、データを分析するための考え方と技能などを学びます。
・考査、小テスト、プレゼンテーションやプログラミング、デジタルコンテンツやレポート作成などの課題への取り組み、学習ノート提出、授業のふりかえり等で評価します。
・毎回予習として教科書を読み、復習として課題や学習ノートに取り組んでください。
・学習ノートは、定期的に提出してもらいます。
・課題について、授業中に完成しなかった場合や欠席した場合は、クロームブック等を用いて家庭で取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

・「情報」や「情報社会」、「情報技術」に関連するさまざまな知識と基本的な技能を身につける。
・「情報」を活用するため、プログラミングやデータ分析の考え方や技能、情報の適切な表現力を身につける。
・問題意識を持って情報社会に積極的にかかわる態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、基礎的・基本的な技能を身に付けている。	問題の発見・解決に向けて、目的に応じて情報と情報技術を適切に用いて、効果的に表現している。	問題の発見・解決に向けて、主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1章 情報社会	1. 情報とその特性	a:情報やメディアについて理解している。 b:コミュニケーションの場面で適切なメディアを選択することができる。 c:情報社会やメディアに興味をもち、情報社会に主体的に参画しようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		2. 問題解決の方法	a:問題を発見・解決するための一連の流れを理解している。 b:いろいろな考えを目的に沿って整理することができる。 c:粘り強く、多様な意見をまとめようとしている。	考査 小テスト 課題作成	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		3. 知的財産	a:知的財産権の分類と内容を理解している。 情報セキュリティ技術について理解している。 レポート作成の際、著作物の引用方法の技能を身につけている。 b: 知的財産について、どのような時にその侵害となるのか判断ができる。 著作権の侵害と正しい著作物の利用方法について考えることができる。 正しい引用で表現することができる。 c: 知的財産・セキュリティについて関心をもち積極的に調べる態度を養おうとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		4. 個人情報	a:個人情報とは何かを理解している。 b:個人情報が流出する原因を判断することができる。 c:個人情報を適切に扱おうとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

		5. 情報セキュリティと情報モラル	a:情報セキュリティで確保すべき要素を理解している。 b:セキュリティ上よいとされるパスワードを考えることができる。 個人のマナーの意味を考えることができる。 c:情報セキュリティやモラルについて意識しようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり
	2章 情報デザイン	6. 情報のデジタル化	a:コンピュータがどのようにデジタルデータを扱うのか理解している。 b:アナログデータとデジタルデータの違いを考えることができる。 c:データをデジタル化しようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		7. 2進法の計算	a:2 進法・10 進法・16 進法の数の関係を理解している。 b:2 進法・10 進法・16 進法の数の変換ができる。 c:2 進法・10 進法・16 進法の数の変換をしようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		8. 文字･音･画像のデジタル化	a:文字・音・画像のデジタル表現の方法を理解している。 b: 文字・音・画像をデジタル化して表現することができる。 c:データをデジタル化しようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		9. 情報デザイン	a:情報デザインの目的を理解している。 b:情報を整理し、抽象化、可視化、構造化して表現することができる。 c:情報デザインを活用しようとしている。 より良い情報デザインを考えて工夫している。	考査 小テスト 課題作成	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

		10. コンテンツ設計	a:デザイン思考の流れについて理解している。 b:目的に沿って、情報をデザインすることができる。 c:粘り強く、情報デザインの方法を活用して、作品を作ろうとしている。	考査 小テスト 課題作成	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり
後期	3章 プログラミング	11. コンピュータの構成 12. ハードウェアとソフトウェア	a:コンピュータの構成について理解している。 基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの違いを理解している。 コンピュータの処理とデータの流れについて理解している。 b:ソフトウェアとハードウェアの処理の流れと仕組みについて説明することができる。 身の回りの機器にどのようなセンサが組み込まれているか考えることができる。 c:コンピュータの仕組みに興味を持とうとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		13. アルゴリズム	a:アルゴリズムで表現する技能を身につけている。 b:問題解決の手順を考えて、目的に応じたアルゴリズムで表現することができる。 c:目的に応じたアルゴリズムを考えようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		14. プログラミング	a:プログラムを作る技能を身につけている。 プログラムのデータ構造を理解している。 b:プログラムでアルゴリズムを表現できる。 c:粘り強くプログラムを改善しようとしている。	考査 小テスト 課題作成	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

		15. 問題のモデル化 16. シミュレーション	a:モデル化やシミュレーションの手順を理解している。 b:対象の事象をモデル化して表現することができる。 シミュレーションを通してモデルの評価を考えることができる。 c:シミュレーションの活用方法を考えようとしている。	考査 小テスト 課題作成	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり
	４章 ネットワークの活用	17. 情報通信ネットワーク 18. デジタル通信の仕組み 19. インターネットの利用	a:インターネットがどのようなものか理解している。 プロトコルとはどのようなものか理解している。 ＤＮＳの役割を理解している。 b:インターネットの構成を説明することができる。 小規模ネットワークの構成を考えることができる。 電子メールやWWWの仕組みについて、プロトコルのことも含めて説明することができる。 c:インターネットやデジタル通信の仕組みについて考えようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		20. さまざまな情報システム	a:社会にある情報システムのサービスについて理解している。 b:身近に利用できる情報システムを考えることができる。 c:情報システムについて考えようとしている。	考査 小テスト	考査 小テスト	学習ノート 授業観察 ふりかえり
		21. データの活用とデータベース 22. データの収集と種類 23. データの分析	a:データベース管理システムの必要性を理解している。 関係データベースのデータ処理方法を理解している。 質的データと量的データの違いを理解している。 b:データを分析することができる。 データ分析の結果を適切な表現方法で発表することができる。 c:粘り強く、データをいろいろな方法で分析しようとしている。	考査 小テスト 課題作成	考査 小テスト 課題作成	学習ノート 授業観察 ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度